

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	中心市街地まちづくり支援事業			事業番号	015-012
担当部署名	産業振興	局	産業戦略	部	地域産業 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
			有・無	指標名	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.3
			有	取組	中小企業の資金調達の円滑化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市産業振興アクションプラン、堺市中心市街地活性化基本計画			
3	事業開始年度	平成 19 年度	点検年度	令和 5 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	中心市街地活性化法等			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	中心市街地活性化協議会(事業者・企業・地域住民)関係者、市民及び来街者	対象数	単位	
			—	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	中心市街地において、商店街等の主体的なまちづくり事業を促し、魅力ある商業地の形成、回遊性の向上、賑わいの創出等、商店街の活性化を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	中心市街地活性化協議会や意欲ある事業者等が、自主的、主体的に取り組む、地域全体のまちづくり及び賑わい創出に資する事業の支援を行う。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	中心市街地活性化協議会等			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	「おおむね6か月以内に、通勤、通学以外の目的で堺東駅から堺駅の周辺エリアを訪れた」と答えた人の割合	目標値	-	-	60	60
		実績値	-	56.6		
達成率		-	-			
	当該指標を選定した理由	当該事業は賑わいの創出を目的としており、住民アンケート結果を指標とすることで事業の成果を客観的に判断できるため。(アンケートは原則3年に1度実施される。令和3年度よりアンケートの設問が当該指標に変更されている。以前は「堺のまちの中心部はにぎわっていると感じている」であった。)				
	目標値の設定根拠・算出方法	市民意識評価の指標				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	市民・事業者等との会議等回数	目標値	12	12	14	
		実績値	20	27		
達成率		167%	225%			
	当該指標を選定した理由	まちづくりに関わるワーキンググループが、自身が抱える課題解決に向け会議を重ね、賑わい創出のために創意工夫を凝らすことで目的達成に寄与すると考えられるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	市民・事業者等と打合せした会議等の回数 令和4年度目標は前年度目標値の約15%増加とした。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	中心市街地まちづくり支援事業	事業番号	015-012
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	5,966	2	2,341	53	2,321
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	5,966	2	2,341	53	2,321
14 人件費 (b)	7,614	4,920	4,510	2,952	3,280
15 年間経費(c)=(a)+(b)	13,580	4,922	6,851	3,005	5,601

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源		
16 事業費内訳	普通旅費（研修等旅費及び管内出張）	R3	決算	33	33		R3	決算		
		R4	予算	286	286		R4	予算		
	通信運搬費	R3	決算	0	0		R3	決算		
		R4	予算	10	10		R4	予算		
	中心市街地まちづくり支援事業補助金	R3	決算	0	0		R3	決算		
		R4	予算	2,000	2,000		R4	予算		
	研修会等参加負担金	R3	決算	20	20		R3	決算		
		R4	予算	25	25		R4	予算		
		R3	決算				R3	決算		
		R4	予算				R4	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① <中心市街地>歩行者通行量	人	-	3,314
② 上記①にかかる年間経費	千円	-	3,005
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		907
備考（算出についての説明等）	販わい創出の指標として、1日当たりの歩行者通行量を用いて算出 ②年間経費は、当該事務事業に係る経費		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、イベント実施を見合わせるなど、事業実施が困難であった。なお、各種プロジェクトチームにおいてはコロナ禍でも書面や対面で定期的に会議等を実施し、商店街における放置自転車対策や冬季のイルミネーション活用等の課題に対して自主的な取組を行った。事業コストが減少した理由は、前述のとおり事業実施が困難であったこと及び職員減により人件費が減少したためである。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 新型コロナウイルスの影響により、事業実施は困難であったものの、商店街がかかえる課題の解決や事業拡充の検討等に自主的に取り組むことで、回遊性の向上や魅力ある商業地の形成等、商店街の活性化に寄与した。